




住宅用火災警報器の奏功事例

島原広域消防本部管内で実際に発生した事例を紹介します

	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等	
事例 1	令和 2 年 7 月	島原市	木造 2 階建	非火災	たばこの火の不始末	<p>居住者が喫煙後、たばこの吸殻をポリ袋に入れ、室内のごみ置き場に放置して外出したため、ごみが燻り、煙が発生して居室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動したものを。通りがかりの高校生が、煙の臭いと住宅用火災警報器の鳴動音で共同住宅の 1 室から白煙が出ているのを発見し、近隣住宅に駆け込んで通報を依頼し、火災には至らなかった。</p>	
事例 2	令和 2 年 9 月	島原市	木造 2 階建	ぼや	洗濯物が石油ストーブの上に落下し、発火	<p>家主が、リビングでテレビを見ている時、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、廊下に出ると、別室で洗濯物を乾かすために点火した石油ストーブから煙と炎が出ているのを発見したため、妻と協力して、水をかけて消火したものを。</p>	
事例 3	令和 4 年 12 月	南島原市 深江町	木造 2 階建	ぼや	新聞紙が石油ストーブの上に落下し、発火	<p>居住者が入浴中、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき風呂から出ると、室内に煙が充満しており、台所及び居間の住宅用火災警報器が鳴動していた。居間内を見に行くと、石油ストーブ周辺の商品が燃えていたため、バスタオルで消火したものを。</p>	
事例 4	令和 5 年 3 月	雲仙市 瑞穂町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	<p>鍋をカセットコンロの火にかけているのを忘れて、別室で長電話していたところ、住宅用火災警報器が鳴動し、警報音に気付いた住人が発報箇所を探すも見つけることができなかった。住人が近隣者に協力を求め、家中を探すと台所の住宅用火災警報器が鳴動しており、鍋から煙が出ているのを発見、鍋に水を入れると煙はおさまった。鍋は内容物が焦げただけで火災には至らなかった。</p>	